

平成24年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月5日調査)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	24.4 (93%)	101 (55%)	3.3 (-0.6)	26.5 (-7.1)	5.1 (-1.1)
	前年	30.8	142	4.0	32.7	6.2
	平年	26.1	185	3.9	33.6	6.2
ひとめぼれ	本年	23.2 (97%)	95 (58%)	3.4 (+0.0)	28.1 (-4.1)	4.9 (-1.3)
	前年	29.0	91	2.6	23.6	5.9
	平年	23.8	165	3.4	32.2	6.2
たかやまもち	本年	26.0 (97%)	134 (102%)	3.4 (-0.2)	27.6 (-2.4)	5.0 (-0.9)
	前年	30.2	87	3.3	24.2	5.8
	平年	26.8	132	3.6	30.0	5.9
ひだほまれ	本年	27.2 (98%)	93 (70%)	3.4 (-0.1)	27.1 (-3.6)	5.1 (-1.0)
	前年	31.5	78	3.1	23.4	5.9
	平年	27.7	133	3.5	30.7	6.1

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

平年値: 過去5年間の平均値

()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

移植直後の5月第4半旬は、日最低気温が平年より低い日が続き、5月第6半旬は、日最高気温が平年より低い日が多かった。6月に入ってからも、日平均気温が平年より低い日が見られ、低温傾向が続いている。降水量は、5月第6半旬に雨の日が続き、平年より多くなったが、日照時間は6月第1半旬で平年より短くなった以外、ほぼ平年並みとなっている。

2) 生育状況

草丈は、「コシヒカリ」で平年対比93%とやや低く、その他の品種も平年よりわずかに低くなっている。茎数は、「たかやまもち」では平年並となっているが、他の品種では分けつが遅れ、平年よりかなり茎数が少ない。

葉色は、いずれの品種でも葉色板、SPAD値とも平年より値が低い傾向が見られ、葉色が淡い状態となっている。葉齡は、いずれの品種も平年より1前後値が低く、生育が遅れている。

移植後に低温傾向が続いたことが、初期生育に大きく影響していると考えられる。

3) 病害虫等の発生状況

アオミドロ・藻類が多く、表層はく離も多く見られる。ノビエ等の雑草は、発生が遅れる傾向が見られるが、早くから発生するものもあり、「だらだら発生」になると思われる。

イネミズゾウムシが5月末から発生しており、食害痕や成虫が散見される。

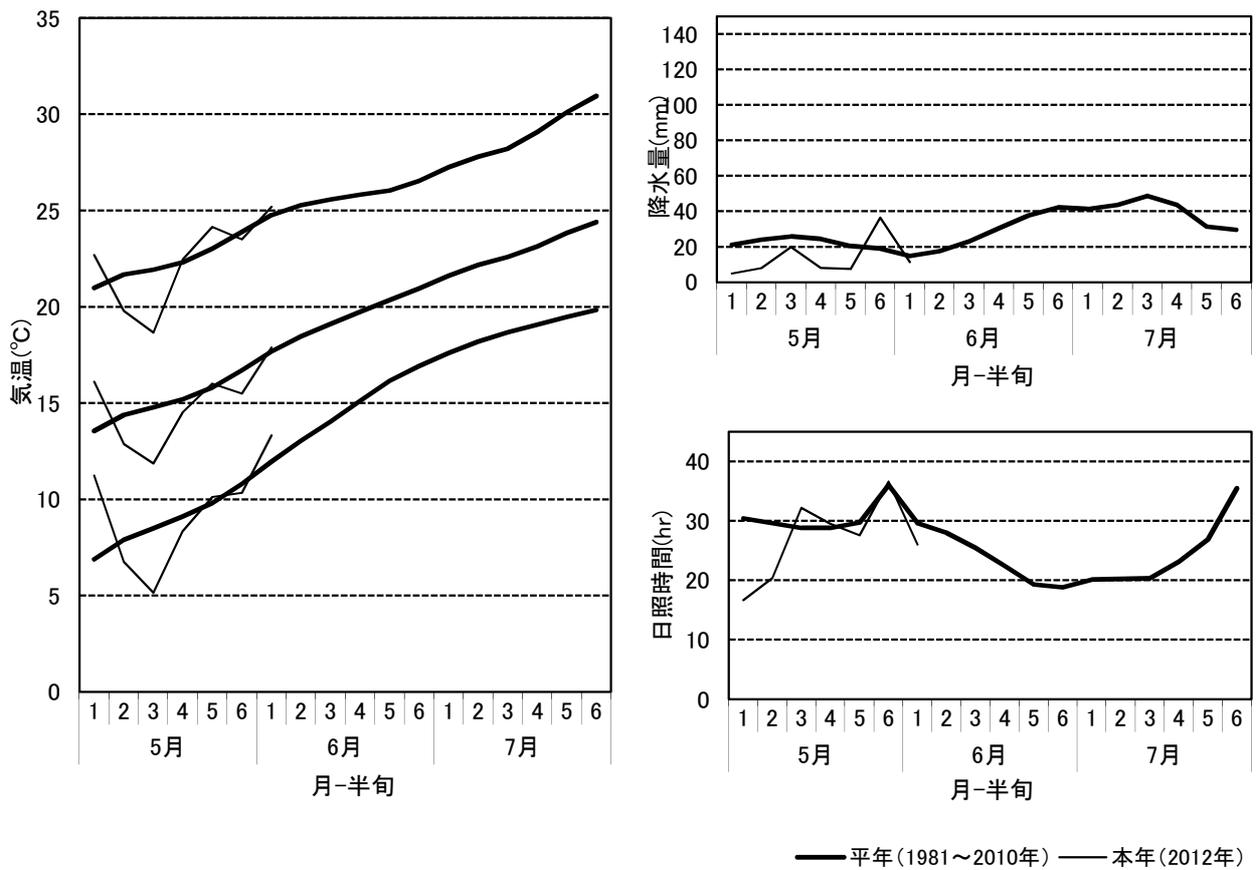
4) 今後の管理

除草剤の処理時期との兼ね合いもあるが、生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策のため、早期中干しを実施すると良い。いったん落水してから2~3日干し、田面に細いヒビが入ったら入水する。干し過ぎずに田面を軽く固める程度とする。

生育が遅れは、気温が高くなれば回復すると思われるので、追肥は当面見合わせた方が良い。特に倒伏しやすい「コシヒカリ」と「ひとめぼれ」では、追肥は行わないこと。

低温の心配がなければ、浅水で管理し地温の上昇に努める。

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 6月5日現在)



岐阜県中山間農業研究所
 TEL 0577-73-2029
 FAX 0577-73-2751
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>